

追加型投信／内外／株式

情報提供資料/2021年6月

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド 〈愛称：ロイヤル・マイル〉

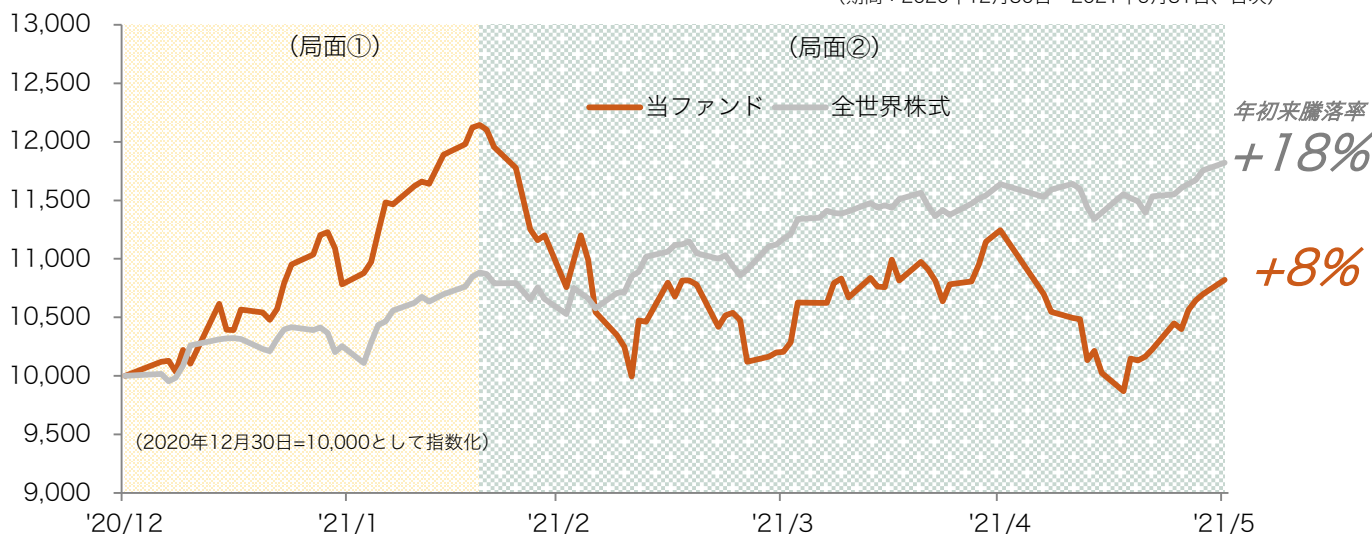
足元の運用状況等について



平素より、「ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド〈愛称：ロイヤル・マイル〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。2021年初来の全世界株式市場は、新型コロナウイルスワクチン接種の進展などを背景に上昇しました。一方で、当ファンドに関しては、2021年2月中旬を高値に基準価額は上値が重い展開が続いています。本レポートでは、当ファンドの足元の運用状況等をご報告いたします。

2021年初来の基準価額の推移

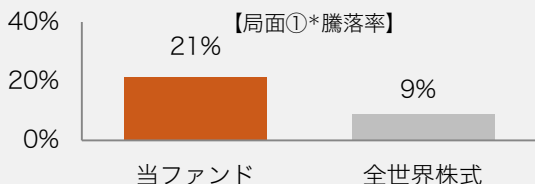
(期間：2020年12月30日～2021年5月31日、日次)



局面別の市況動向および当ファンドの運用状況

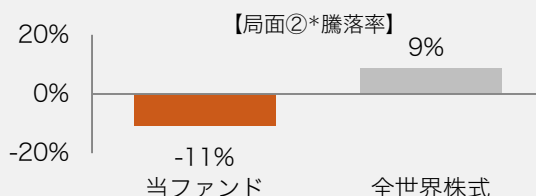
《局面①》

- 米国のバイデン大統領による追加経済対策への期待や、各国における新型コロナウイルスワクチン接種開始とその進展に伴う景気回復本格化への期待などから全世界株式は上昇しました。
- 当ファンドについても、一部保有銘柄が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。



《局面②》

- 米国長期金利上昇による借入コスト増加への警戒感などから下落する局面もあったものの、米追加経済対策法が成立したことや新型コロナウイルスワクチン接種の進展、米国長期金利上昇の一服などが好感され、全世界株式は上昇しました。
- 一方、当ファンドについては、昨年株価が大きく上昇した銘柄を中心に保有銘柄が下落したことなどから基準価額は下落しました。また、中国当局の企業への規制なども重しとなりました。



*局面毎の騰落率は、局面①：2020年12月30日と2021年2月17日（当ファンドの年初来高値）、局面②：2021年2月17日と2021年5月31日の値を用いて計算しています。・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。また、当ファンドは、基準日時点での分配金の支払い実績はありません。・全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。・全世界株式は、当ファンドのベンチマークではありませんが、市況推移の参考として掲載しています。・騰落率は、各期間において日本の営業日ベースで算出しています。・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・指数については、【本資料で使用する指数について】をご覧ください。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

前頁局面②の基準価額にマイナスの影響を与えた上位4銘柄のご紹介

銘柄名	ピンデュオデュオ 		
国・地域	中国	業種	一般消費財・サービス
コメント	同社は、生産者（工場や農家など）が最適な商品を、迅速に適切な数量で市場に効率的に届けることができる斬新な電子商取引の事業モデルを持っています。2020年末には、既に8億人近いユーザーを獲得していますが、その推進には生産者がターゲット市場により効率的にアクセスすることを支援する稀なECモデルの力が大きいと考えます。中間業者を飛び越え、生鮮品などの廃棄量を減少させることで顧客には低価格を、加盟店にはより良い売上をもたらす良い循環を作っています。中国での生産者にとってなくてはならない運営システムになることを期待しています。		



銘柄名	メイチュアン・ディアンピン 		
国・地域	中国	業種	一般消費財・サービス
コメント	同社は、中国でオンライン食事注文サービス、自転車シェアリングサービス、ホテル・旅行予約サービス、映画チケットサービスなどを提供しています。消費者に質の高いサービスを提供し、需要と供給の両面でライフサービスの向上を図っています。中国のローカルサービス産業のオンライン普及率は18%前後と低いものの、長期的には、オンライン普及率は50%に達する可能性があるとしており、同社は業界のリーダーになると期待しています。		



銘柄名	テスラ 		
国・地域	米国	業種	一般消費財・サービス
コメント	自動車市場におけるシェア拡大と、ソフトウェア、EVのコスト構造、垂直化された流通形態の3つの面から既存自動車業界よりも高いマージンの達成、という見方に引き続き自信を持っています。また、成長をさらに高める事業として再生可能エネルギーと自動運転車がありますが、こちらはまだ私たちが成長への明確な道のりを自信を持って語れるところまで進捗していないと考えます。一方で、今後のアップサイドへの確信度がこれまでよりも若干低下したため、ポートフォリオのウェイトを引き下げました。		



銘柄名	TALエデュケーション・グループ 		
国・地域	中国	業種	一般消費財・サービス
コメント	中国の学校外教育市場は中小企業がひしめいていますが、その中でもプレミアムブランドとなっているのが同社です。理数系に焦点をあてた個別およびクラス授業を一級・二級都市で展開しています。学歴社会でありながら質の高い私立・公立学校の数が少ない中国では拡大が続くと考える市場です。創業経営者はAIを使い、生徒にあった授業の提供や自動化に力を入れており、今後は、同市場において再編のリーダーになっていくことが期待されます。		



（出所）Datastreamのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
（株価の期間）：2020年12月30日～2021年5月31日、日次

※コメントはベリヤー・ギフォード・インベストメント・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッド（以下、ベリヤー・ギフォード社）のコメントを基に作成
・業種はGICS（世界産業分類基準）、国・地域名はベリヤー・ギフォード社の定義に基づいています。・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、前頁局面②（2021年2月17日～2021年5月31日）における当ファンドの基準価額にマイナスに影響を与えた上位4銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。
また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

中国当局の企業への規制について

中国当局の企業への規制強化が話題になっていますが、当局の目的は、企業の事業慣行を健全に保つことであり、成長している民間企業を国営化するといった徹底的な締め付け策ではないと見ています。あくまで当局は、経済の安定、システミック・リスク*の減少、競争の公平性、消費者保護を主眼にして監視強化を目指していると考えています。中国政府としても、経済発展の要となったイノベーションを損なうような行動はとらないと考えており、インターネット企業による雇用創出や、経済の活性化という恩恵を失うのは避けたいものと見ています。一方で、中国国内では急速にデジタル化が進んでおり、今後政府が企業をどのように先導するのかを注視する必要があると考えています。

当戦略で保有する中国企業は、あくまでサービスの使い勝手やコストパフォーマンスがよく、結果として消費者によって公明正大な理由で競争優位を保っていると考えます。当局の引き締めには引き続き注意が必要であるものの、長期的な視点に基づいた綿密な企業調査による長期成長銘柄の選定を継続してまいります。

*個別の金融機関の支払不能等や、特定の市場または決済システム等の機能不全が、他の金融機関、他の市場、または金融システム全体に波及するリスクのこと

・ベイリー・ギフォード社のコメントを基に作成

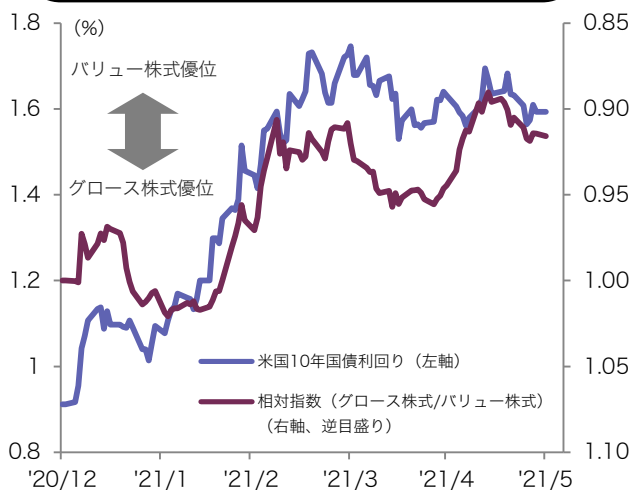
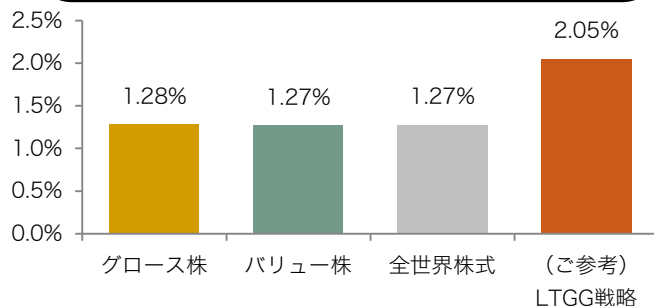
(ご参考) 2021年初来の金利上昇によるグロース株を中心とした株価下落についての考え方

- 期待インフレ率の上昇等を背景とした米国長期金利の上昇により、昨年来相場を牽引してきたグロース株の上値が重い展開が続いています。
- 一方で米国長期金利上昇による株価の下落は、短期的なバリュエーションの調整という側面もあると考えており、また、必ずしも金利の上昇がグロース株の下落につながるとは限らない点に注意が必要だと考えます。

下記右グラフは、金利上昇時の運用実績をお示しするため、LTGGコンポジットのパフォーマンスを用いています。LTGGコンポジットは、当ファンドの投資対象ファンドと同様の運用プロセスを用いておりますが、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドおよび当ファンドの投資対象ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※当ファンドは外国投資法人への投資を通じロングターム・グローバル・グロース戦略（LTGG戦略）を活用します。コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。当該コンポジットには当ファンドの投資対象ファンドも含まれます。

グロース・バリュース株式*と米国10年国債利回り

過去の金利上昇月における騰落率の平均値（上段）と
金利上昇月に騰落率もプラスとなった割合（下段）

金利上昇月 全105回	グロース株	バリュース株	全世界株式	(ご参考) LTGG戦略
金利上昇月に 騰落率が プラスの月数	70	72	71	74
全金利上昇月 に占める割合	67%	69%	68%	70%

出所：Datastream、ベイリー・ギフォード社のデータを基に三菱UFJ国際投信作成
期間：2004年2月末（LTGG戦略設定月）～2021年4月末、月次
※金利は米国10年国債利回りを使用。

*グロース株：将来の利益や株主資本の成長性が高いと判断される成長（グロース）株。
バリュース株：企業の利益・資産などの企業価値（バリュース）からみて、
株価が割安と考えられる割安株。

・上記右グラフは、金利上昇月における各資産の騰落率の平均値を比較したものです。全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス、グロース株式は、MSCI オールカントリー・ワールド・グロース インデックス、バリュース株式はMSCI オールカントリー・ワールド・バリュース インデックスを使用しています（いずれも米ドル建て、配当込み）。全世界株式、グロース株式、バリュース株式は当ファンドのベンチマークではありません。・LTGGコンポジットは、運用報酬除前、米ドルベース、配当および分配金再投資のパフォーマンスを表しています。・指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

リスク管理の考え方 ～オイラー図のご紹介～

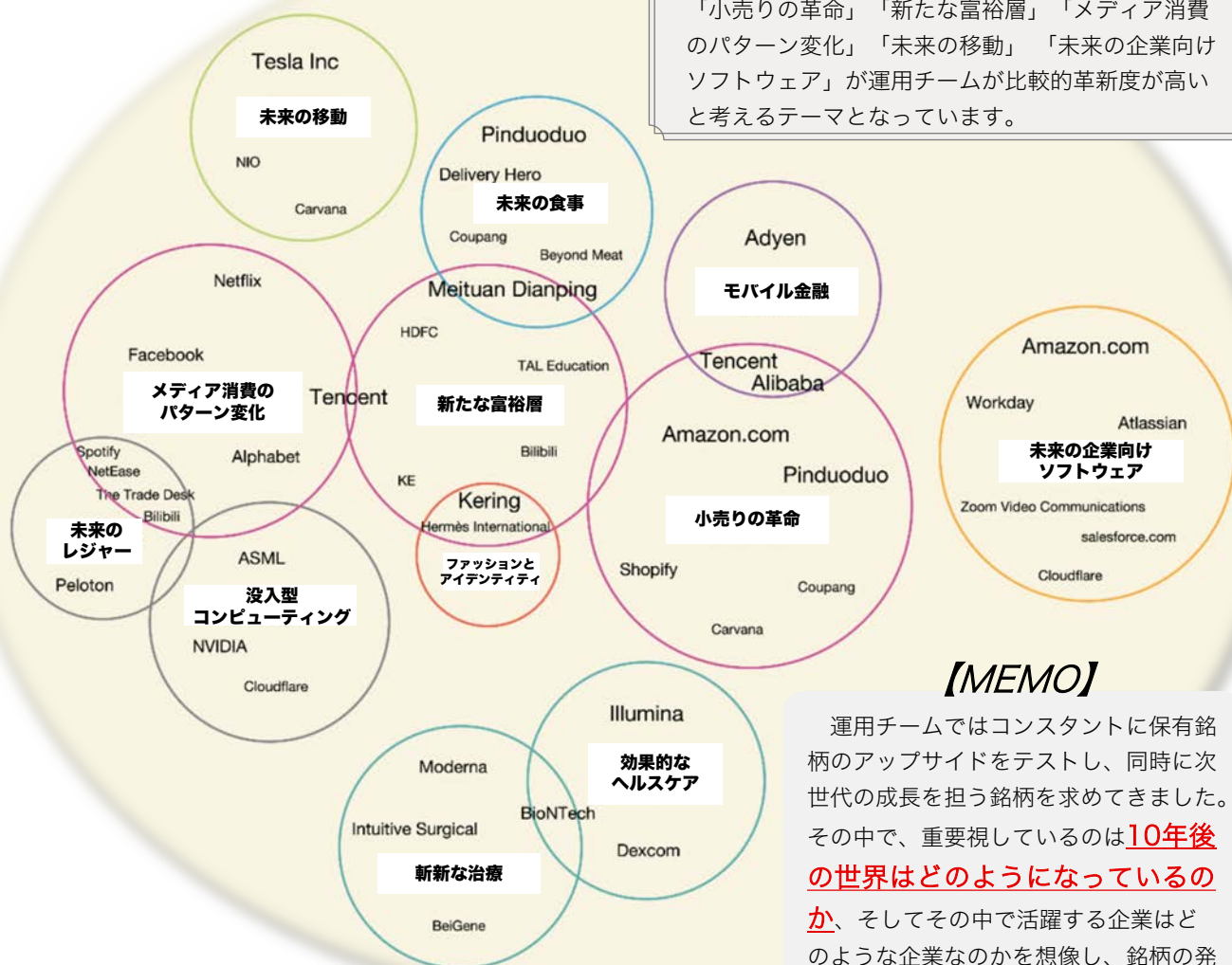
運用チームでは、ボラティリティではなく、分散投資をリスク管理の基本としています。具体的には、ポートフォリオのリスク及び銘柄分散度合いを視覚化したリスク管理方法として、18世紀のスイス人数学者の名前を冠したオイラー図を採用しています。オイラー図は、運用チームが、企業が事業の成果をあげるために最も重要なドライバーだと考えているテーマをもとにして作成し、その上に対象になると考える個別銘柄を当てはめています。ここでの分類はポートフォリオ構築の際の運用チームの考えの**道筋**を反映しており、またポートフォリオの**多様性**も確認しています。

・ベイリー・ギフォード社のコメントを基に作成

(ご参考) オイラー図を使用したポートフォリオのリスク及び銘柄分散度合いの
視覚化のイメージ図 (2021年3月末時点)



オイラー図の円の大きさは、運用チームの考える革新性の高さを示しており、2021年3月末時点では、「小売りの革命」「新たな富裕層」「メディア消費のパターン変化」「未来の移動」「未来の企業向けソフトウェア」が運用チームが比較的革新度が高いと考えるテーマとなっています。



【MEMO】

運用チームではコンスタントに保有銘柄のアップサイドをテストし、同時に次世代の成長を担う銘柄を求めてきました。その中で、重要視しているのは**10年後の世界はどのようなになっているのか**、そしてその中で活躍する企業はどのような企業なのかを想像し、銘柄の発掘調査をするということです。

・上記は2021年3月末現在のモデルポートフォリオに基づくデータであり、実際のポートフォリオは当該モデルポートフォリオと異なる場合があります。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。上記は、今後変更されることがあります。

出所：ベイリー・ギフォード社の資料を基に作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

【ご参考】オイラー図を活用した直近の組入銘柄の事例

2021年1月

新規
保有

ビオンテック

国・地域／ドイツ

オイラー図でのテーマ／・斬新な治療
・効果的なヘルスケア

組入開始までどのようなアプローチをしていたのか？

2020年6月に最初の調査レポートを提出。同業他社との比較で名前が挙がり、より詳細な個別調査を行い、10のチェックポイントで分析。2021年1月に同社CEOとのビデオ会議を経て組み入れを検討し、2021年1月に購入。

なぜ組み入れを開始したのか、今後その銘柄は市場で
どのような存在になっていくと考えているのか？

同社の免疫学領域でのノウハウ、特にパーソナライズされたがん治療を実現したいという強い意志を評価しています。遺伝子レベルで見ると患者一人一人の腫瘍はそれぞれ異なるため、治療成果を向上するには腫瘍の特徴に合わせた治療を行うべきである、という信念に基づいて設立された同社は、メッセンジャーRNAを使ったがんワクチン開発の先駆者です。同社のアプローチには高い価値があると考えており、遺伝子シーケンシング、機械学習、mRNA技術など、現在発生している技術の進化に助けられ、また経営陣の「21世紀のツールを使って21世紀の課題に役立つ医薬品を作る」という長期ビジョンに支えられ、成長していく企業だと考えています。

2021年3月

新規
保有

クーパン

国・地域／韓国

オイラー図でのテーマ／・小売りの革命
・未来の食事

組入開始までどのようなアプローチをしていたのか？

上場前の2019年9月、10月に、運用チームが同社CEOのキム氏やCOOのアナンド氏等と面談し、10のチェックポイントを一部適用したレポートを作成。その後2020年2月に同業他社の調査分析時に比較対象として同社の考察を行った後、同年9月に運用チームが再度面談して理解を深める。IPO前の2021年2月に運用チームが10のチェックポイントに基づく調査分析を行い、3月IPO時に購入。

なぜ組み入れを開始したのか、今後その銘柄は市場で
どのような存在になっていくと考えているのか？

2010年に設立された、韓国の大手eコマース企業。同社は、国内の集合住宅の全てに、住人が出勤する前の早朝にデリバリーする、という規模の経済を追求することで、もともと低い配送料をさらに引き下げることになりました。現在、同社の倉庫から7マイル（約11km）以内に韓国の人口の70%が住んでおり、1日4回の配送を受けることが可能です。このように強力な自前の配送インフラを持っていることが成長ドライバーの一つとなっていると考えます。食品の保管スペースの限られる集合住宅の住人は毎日のように同社で買い物をし、そのついでに他の物を買う、という行動が習慣化し、ユーザーの囲い込みが自然にできていると考えます。上記のような買い物の習慣化や口コミ効果などにより、顧客獲得費用が低く、この先5年間で顧客増加とともに利益率の幅が広がっていくと考えています。

・上記は、当ファンドの商品性をご理解いただくことを目的として、2021年1～4月に新規保有した銘柄のうち、2021年4月末現在の組入上位2銘柄をご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・国・地域名はベイリー・ギフォード社の定義に基づいています。・写真はイメージです。

・ベイリー・ギフォード社のコメントを基に作成

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

運用チームのバリュエーションの考え方

10年先を見据えた長期投資を志向する当戦略において、一般的にバリュエーション指標として使用される株価収益率（PER）や四半期決算といった短期での見通し、さらには一時的なボラティリティ（価格変動性）の高まり等の単一指標**だけ**で銘柄のバリュエーションやリスクの度合いをはかり、株価を評価することはしていません。

運用チームでは、バリュエーションは銘柄選定の際に重要となる「10のチェックポイント」の全項目に関係していると考えています。「10のチェックポイント」の全ての質問は相互に絡み合い、最初の8つの質問を勘案することとで、Q9「どのように株価が5倍以上になるか？」（今後のバリュエーションがどうなるか？）と、Q10「なぜ市場は見過ごしているのか？」の答えが得られます。

そうすることで、これまでの保有銘柄には以下の2つの共通特徴が見られると考えます。

- ① 長期的な成功を極めて重視している**経営陣**
- ② 変化していく世界と世界が目まぐるしく変化する社会の変化に**適応する能力**

・下記は銘柄選定の視点を示したものであり、すべてを網羅するものではありません。また、実際にファンドで投資する銘柄の将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。下記チェックポイントは、今後変更されることがあります。

銘柄を選ぶ10のチェックポイント	
産業の 魅力度	1 今後5年で売上が2倍になる余地があるか？
	2 それ以降の見通しはどうか？
企業の 競争力	3 競争優位な点は何か？
	4 企業文化は他社と明確に差別化されているか？ 事業環境の変化に順応可能か？
	5 なぜ顧客はその企業を好むのか？社会に貢献する姿勢は？
財務 基盤 の強さ	6 資本利益率は魅力的か？
	7 資本利益率は上昇するのか？それとも低下するのか？
経営陣 の資質	8 どのように資産配分をしているのか？ （設備投資、配当や撤退戦略等）
	9 株価が5倍以上になる可能性は？
バリュ エー ション	10 なぜ市場は見過ごしているのか？

・ベイリー・ギフォード社のコメントを基に作成



Actual Investors

Baillie Gifford are long-term investors, not speculators

揺るぎない信念、長期投資

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。

当ファンドの今後の運用方針等

2021年初来の市場ボラティリティの高さは、長期金利の上昇やインフレ懸念のため、将来のキャッシュフローの価値に関する市場関係者の心配が背景にあり、グロース株を中心とした株価の下落はあくまでも行き過ぎたバリュエーションの調整から来るものだと考えています。

一方で、自律的な成長を遂げる企業の将来価値はさらに増すと考えています。大人の一日の時間が主に、睡眠、仕事、食事、レジャーに配分されるのは多くの国で世界共通だと思いますが、新型コロナウイルス感染拡大により睡眠以外のすべてに変化を余儀なくされました。また、様々な業界でディスラプション*の機会が多々あることがコロナ禍で浮上し、創造的破壊の進行する領域で株価が落ち込んだ銘柄が平均回帰するという期待は持ちづらくなっているという点は考慮する必要があると思います。一方で、当戦略では新しい世界での変化をリードし成長機会を享受する銘柄に期待しています。また、新規銘柄アイディアも豊富にあり、ファンダメンタルズの分析を継続するとともに、競合他社に対する持続可能な優位性を確保し長期的な視点を持った経営陣によってマネジメントされている企業の発掘に重点を置いた銘柄選定を行っています。

当戦略の投資先企業の経営陣は長期的なビジョンに加え、変化に対する適応力も持ち合わせていると考えており、長期的には、このような膨大な成長機会を捉える早期段階にある保有銘柄の魅力は大きいと考えています。

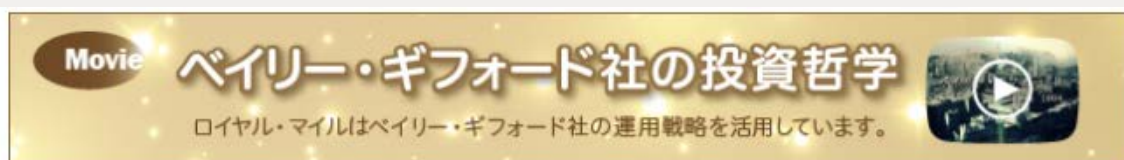
引き続き短期的な株価変動に一喜一憂することなく、大局観を持って辛抱強く運用を続けてまいります。

*すでにある産業を根底から揺るがし、崩壊させてしまうような革新的なイノベーション

・ベイリー・ギフォード社のコメントを基に作成

ベイリー・ギフォード社の投資哲学 ロイヤル・マイル コンセプト動画公開中！

<https://www.am.mufg.jp/fund/253406.html>



ベイリー・ギフォード社の投資哲学動画
はこちら

ロイヤル・マイル コンセプト動画
はこちら

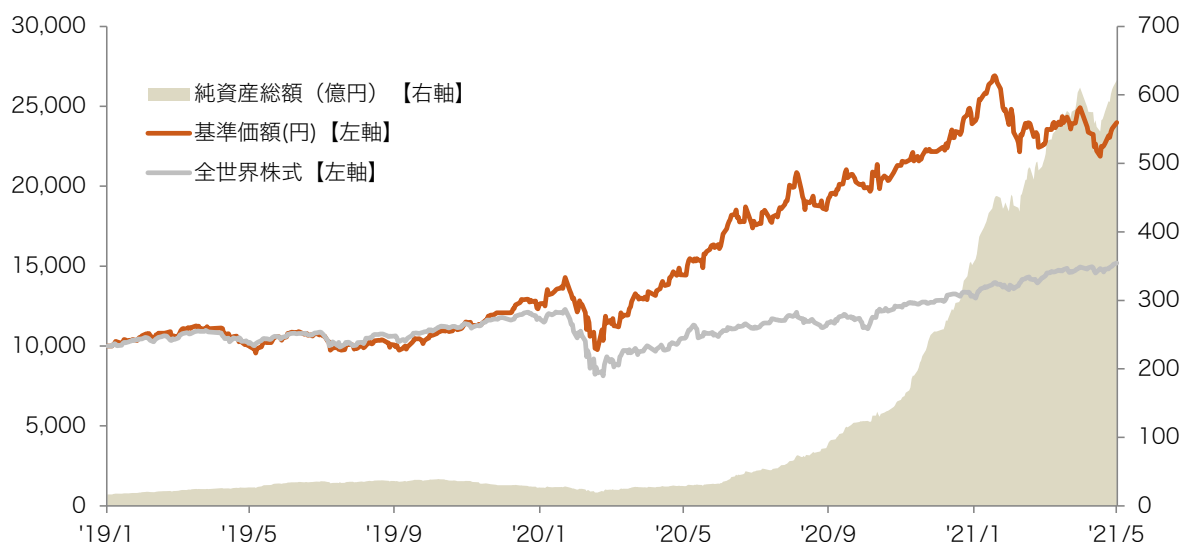


動画
公開中！



■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

基準価額と純資産総額の推移 (2019年1月31日(設定日)～2021年5月31日、日次)



・基準価額は、1万口当たりであり、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・全世界株式は、MSCI オールカントリー・ワールドインデックス(配当込み、円ベース)、設定日翌々営業日を10,000として指数化、参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。なお、掲載期間内においては、分配金をお支払していません。

運用状況 (2021年4月末現在)

実質的な投資を行う「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド」の運用状況

・ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(愛称:ロイヤル・マイル)の主要投資対象であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション(円建)の運用会社のベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッド提供のデータを掲載しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数:38銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	一般消費財・サービス	5.9%
2 テンセント・ホールディングス	中国	コミュニケーション・サービス	5.4%
3 メイチュアン・ディアンピン	中国	一般消費財・サービス	5.3%
4 テスラ	アメリカ	一般消費財・サービス	4.9%
5 アリババ・グループ・ホールディング	中国	一般消費財・サービス	4.9%
6 ビンデュオデュオ	中国	一般消費財・サービス	4.4%
7 イルミナ	アメリカ	ヘルスケア	4.2%
8 ケリング	フランス	一般消費財・サービス	4.1%
9 ASMLホールディング	オランダ	情報技術	3.9%
10 ネットフリックス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.3%

■国・地域別比率

国・地域	比率
1 アメリカ	48.8%
2 中国	27.4%
3 オランダ	6.4%
4 フランス	5.5%
5 ドイツ	3.8%
6 カナダ	2.9%
7 スウェーデン	1.8%
8 韓国	1.1%

■業種別比率

業種	比率
1 一般消費財・サービス	40.2%
2 情報技術	23.3%
3 コミュニケーション・サービス	17.3%
4 ヘルスケア	15.0%
5 生活必需品	1.0%
6 不動産	0.8%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・国・地域は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドの定義に基づいています。・業種はGICS(世界産業分類基準)のセクターで分類しています。

■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

〈愛称:ロイヤル・マイル〉

追加型投信／内外／株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 長期の視点で成長が期待される世界各国の株式等に投資を行います。

・外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンドの円建外国投資証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式等(DR(預託証券)を含みます。以下同じ。)に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

・DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

・投資にあたっては、国や地域、業種、時価総額に拘わらずに、個別企業に対する独自の調査に基づき、長期の視点で高い成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行います。

特色2 外国投資法人の運用は、ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドが行います。

・ベイリー・ギフォード・インベストメント・マネジメント(ヨーロッパ)リミテッドは、ベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドの子会社で、実質的な運用はベイリー・ギフォード・オーバーシーズ・リミテッドが行います。

特色3 原則として、為替ヘッジは行いません。

特色4 年1回の決算時(1月25日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

・分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ファンドの仕組み

・ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。

＜投資対象ファンド＞

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ロング・ターム・グローバル・グロース・ファンド－クラスC・JPY・アキュムレーション(円建)

マネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド
〈愛称:ロイヤル・マイル〉

追加型投信／内外／株式

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。
ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。 株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。
信用 リスク	株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。
流動性 リスク	株式を売買しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。
カントリー・ リスク	ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

〈愛称:ロイヤル・マイル〉

追加型投信／内外／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ダブリンの銀行の休業日およびその前営業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	2039年1月25日まで(2019年1月31日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (愛称:ロイヤル・マイル)

追加型投信／内外／株式

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	日々の純資産総額に対して、 年率1.5895%(税抜 年率1.4450%) をかけた額
	投資対象とする 投資信託証券	投資対象ファンドの純資産総額に対して 年率0.055%以内 (マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。)
	実質的な負担	ファンドの純資産総額に対して 年率1.6445%程度(税抜 年率1.5000%程度) ※ファンドの信託報酬率と、投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。	

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド

(2021年6月16日現在)

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社イオン銀行(インターネット専用)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第370号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第5号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第1号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社CONNECT	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3186号	○			
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社中国銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第2号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
株式会社栃木銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第57号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第50号	○			○
株式会社百十四銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	○		○	
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

【本資料で使用している指数について】

本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ(<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>)を合わせてご確認ください。

【GICS(世界産業分類基準)について】

Global Industry Classification Standard("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。